

佐藤先生ご指導よろしくお願いします。

2019年度 教育実習 I 英語科学習指導案

日 時：2019年9月13日（金）第2校時

授業会場：2年 A組教室

授業者：英語科5番

指導教諭：

1 単元名 Lesson 5 USE-Read Uluru (New Crown 2年)

2 単元の目標

(1) 知識及び技能

①「giveAB」や「look～」の意味や用法を理解することができる。

(2) 思考力、判断力、表現力等

②教科書の登場人物の会話を聞いたり、Uluruに関するコラムを読んだりして、その内容を理解することができる。

③Uluruに関するコラムを読み、自分の考えや感想を伝え合うことができる。

(3) 学びに向かう力、人間性等

④自分が訪れたい国について、紹介しようとしたり、自分の考えや感想を友と伝え合おうとしたりしている。

3 単元展開

(全10時間中 第8時)

学習活動	◇指導・助言 ◆予想される生徒の姿	評価規準	時間
1 自分の行きたい国について紹介し合う。	◇これまでに訪れた国について口頭で導入する。自分が行きたい国について、タブレット端末で情報を調べ、紹介し合うように促す。 ◆自分で調べたり友の発表を聞いたりすると初めて知ることもあった。友がオーストラリアについて調べていたが、そこにあった Uluru とは何だろう。	④自分の行きたい国について紹介しようとしたり、友の意見を聞こうとしたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	1
2 教科書の登場人物の会話の内容を理解する。	◇Ken と Emma がどのような会話をしているか教科書の本文を理解した後、生徒とのやり取りから Emma が Ken に買ったお土産は何かについてやり取りをするように促す。 ◆いつでも使うことができるからオーストラリアのマグカップがいいのではないか。友も様々な考えをもっていた。 ◇Ken が Emma からもらったお土産を Meiling に紹介している会話を理解した後、続きの会話を考えるように促す。 ◆Meiling がどのようなお土産をもらったかについて、会話を続けることができた。	①「giveAB」や「look～」の意味や用法を理解している。【知識・技能】 ②教科書の登場人物の会話文の内容を聞き取っている。【思考、判断、表現】	4
3 Uluru に関するコラムを読んで内容を理解したり、それについて自分の考えを伝え合ったりする。	◇Uluru に関するコラムを読み、その歴史や現在起きている問題点などについて読み取るように促す。 ◆Uluru はとても神聖な場所であることが分かった。また、観光客が多く訪れることで問題点もあることが分かった。 ◇コラムを読んだ考えや感想を伝え合うように促す。 ◆小笠原諸島について学習したときと同じような問題がある。多くの観光客が訪れることでより多くの人がその存在について知ることができるが、ルールは守ってほしい。	②Uluru に関するコラムの内容を読み取っている。【思考、判断、表現】 ③Uluru に関するコラムを読み、考えや感想を伝えあっている。 【思考、判断、表現】	4 (本時は第4時)
4 Uluru についての対談新聞を作成する。	◇友とのやり取りを踏まえて、本単元で学んだことを対談新聞にまとめていくように促す。 ◆以前に小笠原諸島についても対談新聞を作ったが、さらに友とのやり取りを通じた自分の考えを分かりやすくまとめていこう。 ◆作成した対談新聞を紹介し合うことで、さらに Uluru について、自分の考えを深めることができた。	③友とのやり取りした内容を踏まえて、対談新聞をまとめている。 【思考、判断、表現】	1

佐藤先生ご指導よろしく申し上げます。

4 本時案

1 主眼

Uluru に関するコラムを読んで互いの考えや感想を話す場面で、ペアでやり取りをした後に、全体で考えを共有したり、英語で表現できなかったことを確認したりすることを通して、自分の考えを伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

2 本時の評価基準

Uluru のコラムを読んで、考えや感想を伝え合うことができている。

3 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◇教師の指導・援助	時間	備考
導 入	1 本時の学習の見通しをもつ。	ア アナングの人々は Uluru に対して特別な想いをもっている。 イ 小笠原諸島の対談新聞を作ったときは友達と考えを伝え合った。 ウ 自分の考えだけではなくて友達の考えを知ると深まっていくから友達の考えを知りたい。	◇Uluru についていくつか質問を投げかけて前時までに学習した内容を確認する。 ◇対談新聞を作るためには友達の考えを踏まえていくと、自分の考えを深めていけそうなことを確認し、Today's Goal を設定する。	8分	
		Today's Goal : Uluru のコラムを読んで、考えや感想を伝え合おう。			
展 開	2 ペアで Uluru に関するコラムを読んだ考えや感想を伝え合う。	エ 僕は Uluru には登るべきではないと思う。なぜならアナングの人々は Uluru に数千年前から住み続けていて、Uluru は彼にとって家のようなものだと思う。彼らの文化を尊重するべきだ。 オ 友達も Uluru に登るべきではないと言っていた。Uluru はアナングの人々のものだから彼らを尊重するべきだと言っていた。	◇前時のワークシートを見て、自分の考えを確認する時間を設ける。 ◇前時のワークシートを見ずに、ペアで Uluru に関するコラムを読んだ考えや感想を伝え合うように促す。 ◇ワークシートには友の考えの内容についてのメモと友が使っていた表現で使いたい表現をメモするように促す。	20分	
		3 全体で考えを共有したり、英語で表現できなかったことを確認したりする。	カ 僕たちのペアではアナングの人々の文化を尊重するべきだからという理由しかなかったけど Uluru に登ることは危険だから登るべきではないという見方もあることに気がついた。 キ 友達と考えを伝え合う時に「彼らの文化を尊重したい」と日本語でしか言えなかったが「I want to respect their culture.」と言えればいいことが分かった。		◇前時に学習した3人の中学生の意見とは異なった見方をしている考えも全体で共有する。 ◇英語でどのように言ったら良いのか分からなかった表現や机間指導の際に生徒が話していた日本語を取り上げ、どのように英語で表現できそうか、全体で共有する場を設定する。
開	4 一回目のペアとは別のペアで考えを伝え合う。	ク 一人目の友達が使っていた表現や全体で共有された見方や表現を取り入れて二人目の友達に自分の考えを発表しよう。 ケ 僕は Uluru に登るべきではないと思う。理由は二つあり、一つ目はアナングの人々の文化を尊重するべきだと思うからだ。二つ目は Uluru に登ることは危険であると考えたからだ。	◇より多くの友と考えや感想を伝え合うことで自分の考えをより深めることができることを確認し、ペアを3回程度変えてやるように促す。 ◇1回のやり取りが終わるごとに、全体で考えや英語で表現できなかったことを共有する。 ◇共有された考えやペアが言っていた考えを参考にして伝え合っていくことを確認する。 ◇友達と自分の考えを伝えあった上での最終的な自分の考えをワークシートに書くように促す。 ◇まとまりのある内容で書いている生徒を全体で取り上げ共有する。	12分	
		<p>〈予想される生徒の考え〉</p> <p>I think we must not climb Uluru. Because Uluru is sacred place for the Anangu. Textbooks says they started living 40000 years ago. So, it is the Anangu's house. We must show respect for the Anangu.</p>			
終 末	5 本時を振り返る。	本時の評価規基準に達していない生徒への手だて Uluru に対する自分の考えを持つことのできない生徒やどのように自分の考えを表現したら良いのか分からない生徒には教科書 P63 の3人の中学生のスク립トや友達の意見や表現を参考にするように促す。		10分	
		コ 友達の意見を聞いて、自分とは異なった考え方を知ったことで自分も最初とは違った考え方で Uluru について考えられるようになったし自分の考えもより深まった。 サ 友達の表現を聞いたことで引用や経験を表す語句など自分の表現が広がった。	◇本時の振り返りをワークシートに記入後、発表するように促す。 ◇コやサのように友と考えを伝え合うことを通して自分の考えや表現の仕方がどのように変わっていったのかを書いている生徒の振り返りを全体で取り上げ、共有する。		

4 反省